

第2回 JUAA公衆衛生大学院ワークショップ

健康開発人材の育成

公衆衛生系専門職大学院は
社会の要請にどう応えるか？

日時

2019年

5月31日 金 13:00-17:00

東京大学医学部鉄門講堂（東京大学本郷キャンパス医学教育研究棟14階）

第1部

13:10～14:30

卒業生と専門職大学院教員の鼎談

— 地域・職場の健康開発人材：公衆衛生大学院で何が学べるか？

第2部

15:10～16:50

産業界と公衆衛生系専門職大学院との意見交換

— 公衆衛生系専門職大学院の教育の質を

いかに向上させるべきか？

※登壇者・申込方法等の詳細は次頁をご覧ください

お問い合わせ

公益財団法人大学基準協会 評価事業部評価第2課

TEL: 03-5228-3883

HP: <https://www.juaa.or.jp/>

E-mail: public_health@juaa.or.jp

開催趣旨

少子高齢化・医療介護の効率化・健康寿命延伸など喫緊の社会的課題の克服に向け、地域包括ケア・健康経営戦略の展開が求められています。地域・職域における健康資源開発に資することができる高度人材の社会的需要が高まるなか、現在国内には5つの公衆衛生系専門職大学院が開設され公衆衛生学修士（Master of Public Health; MPH）を輩出しています。国外では健康資源開発の専門職として明確なmarket signalを持つMPHですが、日本の民間・公的機関でMPH取得者の積極的な活用は十分なされているとはいえません。

本ワークショップでは、公衆衛生系専門職大学院における人材育成の目的・教育の質保証の現状を産業界関係者にアピールするとともに、社会が求める人材像にさらに迫るべく公衆衛生系専門職大学院教育の質向上をいかに図るべきかを、教育機関・卒業生・産業界が一同に会して議論します。

プログラム

13:00~13:10	開会挨拶・趣旨説明
13:10~14:30	卒業生と専門職大学院教員の鼎談 —地域・職場の健康開発人材：公衆衛生大学院で何が学べるか？ 東京大学 川上憲人氏（東京大学教授） 修了生：坂本宣明氏（産業医、ヘルスデザイン株式会社代表） 修了生：西本真寛氏（NPO法人 iSPH 理事、北里大学 一般教育部 特別研究員） 京都大学 中山健夫氏（京都大学教授） 修了生：戒田信賢氏（株式会社 電通）
14:30~15:10	休憩 会場外にて公衆衛生系専門職大学院（東京大学、九州大学、京都大学、帝京大学、聖路加国際大学）のプレゼンテーションを実施
15:10~16:50	産業界と公衆衛生系専門職大学院との意見交換 —公衆衛生系専門職大学院の教育の質をいかに向上させるべきか？ モデレータ：吉元良太氏（慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター特任教授、リサーチコンプレックス推進プログラムオーガナイザー） パネリスト：浅野健一郎氏（株式会社フジクラ 人事部健康経営推進室副室長） 鴨打正浩氏（九州大学教授） 中山健夫氏（京都大学教授） 福田吉治氏（帝京大学教授） 橋本英樹氏（東京大学教授） 遠藤弘良氏（聖路加国際大学教授）
16:50~17:00	閉会挨拶

参加申込

①所属大学・機関名、②所属部署名、③氏名、④連絡先（TEL・メールアドレス）を記入した電子メールを下記の申込み先までご送信下さい。

【申込み先】公益財団法人大学基準協会 評価事業部評価第2課 E-mail: public_health@juaa.or.jp

会場案内

東京大学医学部鉄門講堂（東京大学本郷キャンパス医学教育研究棟14階）

- ・本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）より徒歩8分
- ・本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）より徒歩6分
- ・湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）より徒歩8分

キャンパスマップ・アクセスマップはQRコード又は下記URLからご覧ください。

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_09_j.html

